

## 第4節 ボランティアの支援

被災者の支援については、地震発生の直後から、市内外のボランティア団体や個人の方から支援の申し出が多数寄せられ、これらのボランティアによる活動が実施された。また、建築専門家や医師、理美容師、鍼灸師などの専門家によるボランティア支援も展開された。

本市においては、市災害ボランティアセンターを設置し、ボランティア活動の調整を行った。

### (1) 一般ボランティアの活動

- ・登録人数 2,187人
- ・活動件数 551件、延べ 3,254人
- ・活動内容 被災住宅内の片づけ、家具の移動、がれきの撤去、ゴミの片づけ、避難所での避難生活支援、(炊き出し、話し相手、ペットの世話等)

### (2) 専門団体・企業などのボランティア活動

- ・活動内容 被災住宅の調査、避難所診療所の処方箋処置、避難所での整体・マッサージ、理美容師によるカット・洗髪など

### (3) 慰問、レクリエーションの提供

- ・申出件数 181件
- ・実施件数 51件
- ・申出内容 旅行の招待、野球、相撲、コンサート、演劇、映画等の招待、音楽コンサートの実施、子どもへの絵本の読み聞かせ、もちつきなど

### (4) 災害ボランティアセンターの設置

#### ①福岡市災害ボランティアセンター

本部：福岡市中央区荒戸3-3-39 市民福祉プラザ2階  
区(中央区を除く)：各区社会福祉協議会ボランティアセンター内  
設置期間 平成17年3月22日～5月31日

#### ②中央区ボランティアセンター

設置箇所：中央区「福岡市九電記念体育館敷地内」  
主催：中央区社会福祉協議会(県社会福祉協議会の支援あり。)  
設置期間：平成17年3月20日～4月27日

## 第5節 支援事業

### 1 ソフトバンクホークス(小鷹神社再建支援チャリティ試合)

小鷹神社の復旧は住宅でないため、公的な支援がなかった。そこで、島民の義援金などで修復する必要があったが、「鷹」で結ばれたソフトバンクホークスからチャリティ試合の協力があつた。

平成18年5月24日に、小鷹神社再建支援チャリティ試合が開催され、チケット代の一部が島に寄付された。460名もの方から申込があつた。また、試合前後に島民による募金活動が行われた。

翌年8月2日にも予定されていたが、台風接近のため中止となったが、これまでの支援のお礼として、玄界島からアワビ、ワカメが選手会に贈られた。



島民の募金活動



激励に訪れた松中選手と斉藤選手

### 2 アートサポートふくおか(小学校学習発表会支援)

平成17・18年度、玄界小学校の学習発表会において、各学年の劇や全学年での合唱にオリジナル作品を提供し、アーティストによる指導を行った。



劇の指導



学習発表会



### 3 野田かつひこ氏(復興応援歌の提供)

前述したアートサポートふくおかによる学習発表会支援の一環として、島民への復興応援歌「僕のふるさと玄界島」を制作。平成19年8月15日の夏祭りで「僕のふるさと玄界島」が収録されたCD1000枚が島民へ寄贈された。また、玄界島への寄金者へ島民からプレゼントされた。

翌年には、子どもたちの帰島に伴い、島での生活を応援する歌として「島に咲く花のように」が提供された。



夏祭りで小中学生と合唱する様子



島民に配布されたCD

#### 僕のふるさと玄界島

作詞/作曲/編曲 野田かつひこ

僕が生まれた玄界島  
上り下りの坂道を  
君と歩いたかけのぼった  
眩しい季節のなかを  
いつか(いつか)帰ろう(帰ろう) 心の海に輝く島  
帰ろう(帰ろう)あの島へ(あの島へ) 僕のふるさと玄界島へ

夢に見たんだ 漁船の群れ  
今日はとても 大漁だ  
親戚 ご近所 鍋をかこみ  
笑顔があふれていたよ  
いつか(いつか)帰ろう(帰ろう) 希望と言う名の船にのって  
帰ろう(帰ろう)あの島へ(あの島へ) 僕のふるさと玄界島へ

あの日見たんだ 島の涙  
時が止まった あの日から  
けれど島は生きている  
森も虫も 鳥達も  
いつか(いつか)帰ろう(帰ろう) そこに島があるかぎり  
帰ろう(帰ろう)あの島へ(あの島へ) 僕のふるさと玄界島へ

いつか(いつか)帰ろう(帰ろう) 心の海に輝く島  
帰ろう(帰ろう)あの島へ(あの島へ) 僕のふるさと玄界島へ

いつか(いつか)帰ろう(帰ろう) 空を渡る雲のように  
帰ろう(帰ろう)あの島へ(あの島へ) 風を運ぶ 玄界島へ

#### 島に咲く花のように ~玄界島の花たちへ~

作詞/作曲/編曲 野田かつひこ

島に咲いた ちいさな花 おかえりと僕に微笑むように  
あの日から僕ら 島を離れて どれほど この日を待ちこがれた  
島の姿を変わったけど たいせつなものがここにはある  
島に咲く花のような みんなの笑顔  
海風に育った 素朴な花たち  
島じゅうに 夢を 咲かそうよ

島に咲いた 夢のつぼみ 今日からここで暮らして行こう  
あの日 流した 涙と汗 どれほど この日を待ちこがれた  
心のいたみも 島のきずも きつと癒せる日がくるさ  
冬を越えた花のように ちから強く  
大漁旗 はためかせ 舟が帰るよ  
僕らの希望をのせて

風と遊ぶ花のように 両手をひろげて  
坂道をかけのぼる 元気なつぼみたち  
太陽を からだに感じて

島に咲く花のように 生きてゆこう  
海風に育った 元気な花たち  
島じゅうに夢を咲かそうよ  
島じゅうに夢を咲かそうよ

### 4 和白東元気鼓(玄界太鼓の発足)

被災した島民が勇気と希望をもって新しいしまづくりに取り組んでいけるよう、公民館や玄界校区自治協議会の協力のもと太鼓の指導を行った。平成18年10月4日には、島民同士が相互に励まし合い勇気づけ合えるよう、島民で構成された「玄界太鼓」が発足した。



島民への指導



両陛下を太鼓でお見送り



第6節 視察

1 行幸啓

平成17年10月30日、島民を励ますため、皇太子殿下がかもめ広場を訪問された。皇太子殿下は仮設住宅を訪ね励ましの言葉をかけるとともに、仮設の玄界島保育園で園児ひとりひとりと話した。玄界島からも多くの島民が大漁旗を掲げて歓迎のために集まった。



出迎えて島民に声をかける皇太子殿下



仮設住宅を訪問

また天皇・皇后両陛下が復興状況視察のため、平成19年10月29日にかもめ広場を、翌30日に玄界島を訪問した。両陛下は多くの島民に、健康状態をはじめ漁業や復興状況について尋ね、励ましの言葉をかけた。



子ども達に声をかける両陛下



漁船には日の丸と大漁旗

その後、両陛下は島を見舞った時の様子や気持ちを歌にしてお詠みになった。

天皇陛下（福岡県西方沖地震より二年半余玄界島を訪ねて）

なみにより被災せし子ら我ら迎へ島鷹太鼓の撥揚(かか)げ待つ

平成19年10月、両陛下は2年前の3月に発生した福岡県西方沖地震の被災地を御訪問になり、当時住民が全島避難した玄界島では戻ることのできた島民の一人ひとりを励まされた。この御製は、船で玄界島に到着される両陛下を島の子供達が島鷹太鼓と呼ばれる太鼓でお迎えしようとする様子を詠まれたものである。

皇后陛下（玄界島）

洋中(わたなか)の小さき陸(くが)よ四(し)百余の人いま住むを思ひつつ去る

平成19年10月、両陛下は二年前の福岡県西方沖地震により全島民が避難を余儀なくされた玄界島を訪問された。この御歌は被災後、島を離れ、福岡市内の施設に避難した島民のうち400人余りが帰島し、島での生活を始めたことに安堵されると共に、島人の今後を思われつつ離島された時のお気持ちを詠まれたものである。

(宮内庁HPより)

2 大臣等の視察

- 平成17年 3月20日 林田防災担当副大臣視察
- 3月21日 蓮見国土交通副大臣視察
- 3月24日 村田防災担当大臣視察
- 3月26日 小泉内閣総理大臣視察
- 3月30日 衆議院災害対策特別委員会視察
- 4月25日 参議院災害対策特別委員会視察
- 5月11日 衆議院国土交通委員会視察
- 11月2日 森・長岡市長視察
- 11月15日 アンナ・ティバイジェカ国連ハビタット事務局長視察
- 平成19年11月30日 冬柴国土交通大臣視察

3 視察者数

3年間で100団体1000名以上の方が視察に訪れた。

視察者一覧(一部を抜粋)

平成17年度	平成18年度	平成19年度
国土交通省	国土交通省	国土交通省
九州地方整備局	農林水産省	九州地方整備局
住宅金融公庫	九州地方整備局	福岡財務支局
土木学会	福岡県議会	土木学会
地盤工学会	福岡市西区自治協議会	日本道路建設業協会
建築学会	陸前高田市議会	西警察署協議会
福岡市議会	上郡町議会	輪島市議会
東京都議会	南あわじ市議会	横浜市議会
東京都羽村市	安曇野市議会	南さつま市笠沙民生委員児童委員協議会
横浜市議会	高遊原南消防組合議会	南さつま市大浦民生委員児童委員協議会
甘木市議会	菊地南部区長議会	由良町区長会
基山町消防委員会	合志市	東近江市議会
熊本県消防団	茂原市議会	近江八幡市
鹿児島県出水地区消防組合議会	諫早市消防団	宇多津町議会
九州大学	大津町区長会	摂南大学
	福岡工業大学	